



◀この一般質問の映像は  
こちらから



高橋 輝

質問

## バリアフリーの促進方法は

### 町 各施設と連携を図り進める

問 全て無人駅である町内3駅がバリアフリー化になる見込みは。

答

(ふるさと定住課長) 毎年、JRに対して段差解消の要望は行っている。黒田原駅下り線ホームと車両との段差解消も引き続き要望したい。

問

観光協会と連携して、バリアフリー施設ガイドを作成する考えは。

答

(保健福祉課長) 障がい者にとって有益だと考えられるため、今後、調査研究を行いたい。

### 福祉関連計画について

### 町 社会福祉協議会と連携

問 地域福祉の担い手であるボランティアやNPOの支援方法は。

答

(保健福祉課長) 地域福祉において重要な担い手と認識している。これまで以上に社会福祉協議会と連携し、住民のニーズに合ったボランティア講座を開催する等、個人及び団体が活動しやすい環境づくりを実施する。

問

民間施設に赤ちゃんの駅を増やすために、ベビーベッドやおむつ交換台の購入費用を助成する考えは。

答

(こども未来課長) 利用頻度が少ないという現状もあるが、今後検討する。

答

(保健福祉課長) 参考にするべき事業と捉えている。関係課と連携を図り、どのように実施できるか調査、研究する。

問

世田谷区のように、商店等において、筆談ボード、段差解消用簡易スロープ、展示メニュー等、福祉用具の経費を助成する考えは。

答

(保健福祉課長) 関係課と連携を図り、促進に努める。

問

宿泊施設、商業施設において、バリアフリー化を促進する方策は。



段差解消用簡易スロープ  
(世田谷区 HP より転載)

問

今後、更にニーズが高まると推測される移動サービスのボランティアには、ガソリン代の補助や保険の掛け金を負担する等の施策が必要では。

答

(保健福祉課長) 移動サービスをを行っている地域に対し、今年度から保険料を部分的に補助している。



移動サービスボランティアの様子  
(らくらくサポートセンター那須)

※ほかに…「観光振興について」の質問もしています。

※赤ちゃんの駅  
外出時に気軽に立ち寄り、授乳やおむつ交換できる施設やスペースのこと。

質問

## ボランティアの支援方法は